つなごちゃんだより

2022 年度
11 月号

〒177-0045 練馬区石神井台 3 丁目 31 番 4 号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03(6767)1204

紅葉の便りが届くようになりました。秋晴れのきれいな光のなかで遊ぶ子どもたちは一層輝いて見えます。りす組やうさぎ組と散歩に行く日が、とても楽しみです。『私に何か一生懸命言っているけれどなに？』と思ってよーく聞いたら「アリ」だったり「はっぱ」だったり。人に何かを伝えたいという心が育っているのだなあと感動しています。うさぎ組と散歩に行ったときにはコンビニのフェンスにさなぎを見つけました。私が「あ！それは」と言うより早く指でつついてしまい、さなぎが変形したような・・・今もなんとかくっついています。『ああどうか、春にちょうちょに羽化できますように』と祈るばかりです。保育園でも２匹の青虫を飼っていました。さなぎになって、どうやら冬を越すつもりのようです。「本当のもの」にたくさん出会えるようにしたいと思っています。　園長　浦山恵美子

今月のねらい

★1 歳児りす組★

- 感染症に留意して、手洗いの手順や習慣が身につくよう援助する。
- 秋の自然に触れ、十分な探索活動を楽しむ。

★2 歳児うさぎ組★

- 衣服の着脱や午睡の入眠など、身のまわりのことを“自分で”という気持ちを大切にし、「できた」という体験を積み重ねられるよう援助する。
- 生活や遊びの中での経験や興味・関心を、再現遊びや表現遊びなどで自由に表現する。

今月の予定

10 日（木）　歯科検診
11 日（金）　避難訓練
16 日（水）　身体計測

運営委員会を開催しました

運営委員の皆さまから、今後の方針についてご意見を頂きました。
保護者の皆さまから頂いたご意見とともに、今後の運営に活かしてまいります。
後日、議事録とアンケート結果を配布します。

「お散歩をのぞいてみませんか？」

ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。
中止によるご予定の調整では、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

遠くからではありましたが、子ども同士や保育者との関わり、遊びの様子などはご覧いただけましたでしょうか？
保護者の皆さま、見事にこっそりと見てくださっていて、気が付かなかった職員もいたほど！ご協力に感謝します!!

裏面の外遊びのクラスの様子と合わせて、保育園での外遊びを少しでも知っていただけたら嬉しいです。
初めての行事ということで、ご意見・ご感想などがありましたら遠慮なくお聞かせください。

うさぎぐみにベビードールがやってきた！

大事に扱うための作戦会議

こちらの QR コードから保育園のホームページ・おたよりをご覧になれます。

子どもの様子　～今月は外遊びの様子です～

★りすぐみ★

　石神井公園の松林広場（まつぼっくり広場）へ、たくさんの秋を探しに行っています。
どんぐりや松ぼっくりを集めて袋やカップに入れたり、保育士やお友だちに見せたりしています。葉っぱを見つけると「おばけにして！」と穴を開けておばけの顔にしてほしいとリクエスト。それを片手に「おばけだぞ～」と追いかけっこが始まります。
おばけのポーズをしながら来るので、なかにはそれに対して「わぁ！にげろ～」と笑顔で逃げるお友だちも！外での活動が楽しい季節、これからもたくさん外遊びをしていきたいと思います。

★うさぎぐみ★

　暑い夏が過ぎ、最近のうさぎぐみは芝生広場やまつぼっくり広場によく出かけています。
体力もつけたいし、ひろ～いところを走って遊ぼうかな！とも思うのですが、子どもたちは「わぁ、どんぐり！」「袋ちょうだい！」と一気に拾いに走って行きます。
形の違いを友だちと見せ合いっこしたり、「帽子かぶってるのみっけ!!」とプレミアムどんぐりを自慢そうにしたりしています。
　最近の変化は「なんで帽子かぶってるの？」「なんでこれは緑色なの？」「なんで虫が入ってるの？」と「なんで、なんで、なんで～？」と聞くことです。この子どもの「なんで？」はこれから先にずっと続く好奇心、興味、関心の大切なスタート！嬉しい成長を感じています。子どもたちの質問に、大人はタジタジになることもあります。今すぐ科学的なことがわからなくても、“不思議”“知りたい”“なんで？”という気持ちを持ち続けることを大切にしたいと思っています。

外遊びには欠かせない！

靴の大事なお話

《正しい履き方》

足を入れる　かかとをトントン　両サイドからギュ～　ベルトをペタン

《靴選び４つのポイント!!》

① マジックテープのベルトが付いていて、甲を固定できるもの（緩いと靴の中で足が前すべりをしてしまう）
② かかと部分が硬くてしっかりしているもの（かかとが安定してまっすぐ立てるように）
③ 0～2 歳までは靴底が平らで安定しているもの（地面に靴を置いたときに反り返らないもの）
　３歳以降は母趾で地面を蹴って前に踏み出せるようになるため、関節部分の靴底が楽に曲がるもの
④ かかとを合わせて履いた時に、つま先に１㎝程度の余裕があるもの（中敷きを出して足を置くと正しいサイズがわかるため、中敷きが外れるタイプを推奨）

乳幼児期は足が成長する大切な時期です。
特に乳児の頃はまだ足の骨が柔らかく、大きすぎる靴では足の疲れが増して運動意欲を低下させます。逆に小さい靴は足や足指が変形しやすく、痛みの原因になります。
靴が足にフィットする“足感覚”の育ちはファーストシューズから６歳ごろまでが大事と言われ、この年齢までの“足感覚”が成長期や大人になってからの靴選びにも影響します。間違った感覚にならないように正しいサイズを選ぶこと、体の土台である足の正しい成長や正しい筋肉の発達を促すために靴選びは大切なんですね。

（「乳幼児の身体機能を育てる足と靴の指導法」早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員　吉村眞由美先生の研修より引用）